

---

# インバウンド観光（訪日外国人観光客） プロモーションに関する自治体実態調査

2020年

---

日本観光推進総合研究所



### 調査目的

- ・各自治体におけるインバウンド観光のプロモーションに関する取り組み状況の実態把握を行うための調査です。（一昨年と昨年に引き続き3回目）
- ・本調査結果を今後の観光プロモーション活動などにお役立ていただくことも、あわせて目的としています。

### 調査期間

- ・令和2年5月18日～令和2年9月11日

### 調査対象

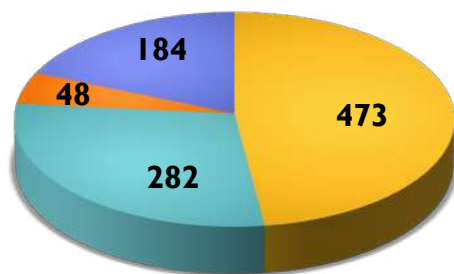
- ・全国1,741自治体

### 回収状況

- ・回収数：989票
- ・回収率：56.8%

# 01. ここ数年における外国人観光客について

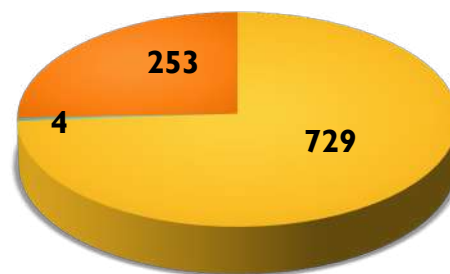
客数の変化



N = 987

- 増えている
- 変わらない
- 減っている
- わからない

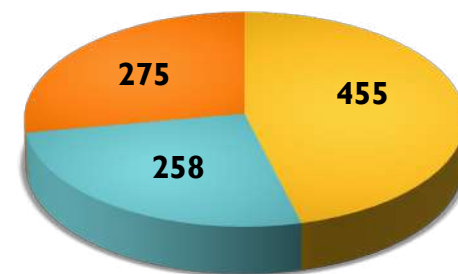
受入の姿勢



N = 986

- 受け入れたい
- 受け入れたくない
- どちらともいえない

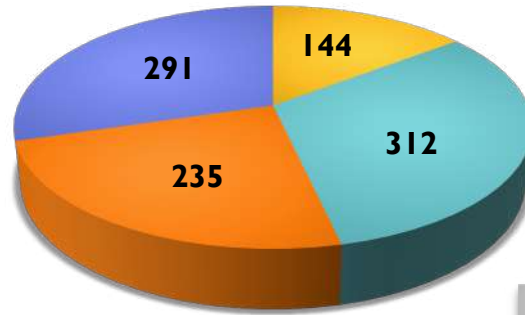
プロモーション



N = 988

- 実施している
- 実施を検討中
- 実施する予定はない

# 02. 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の1つである「V字回復フェーズ」にする準備について



- 準備している
- 準備する予定
- 準備する予定はない
- 準備したいが具体的に何をすべきかわからない

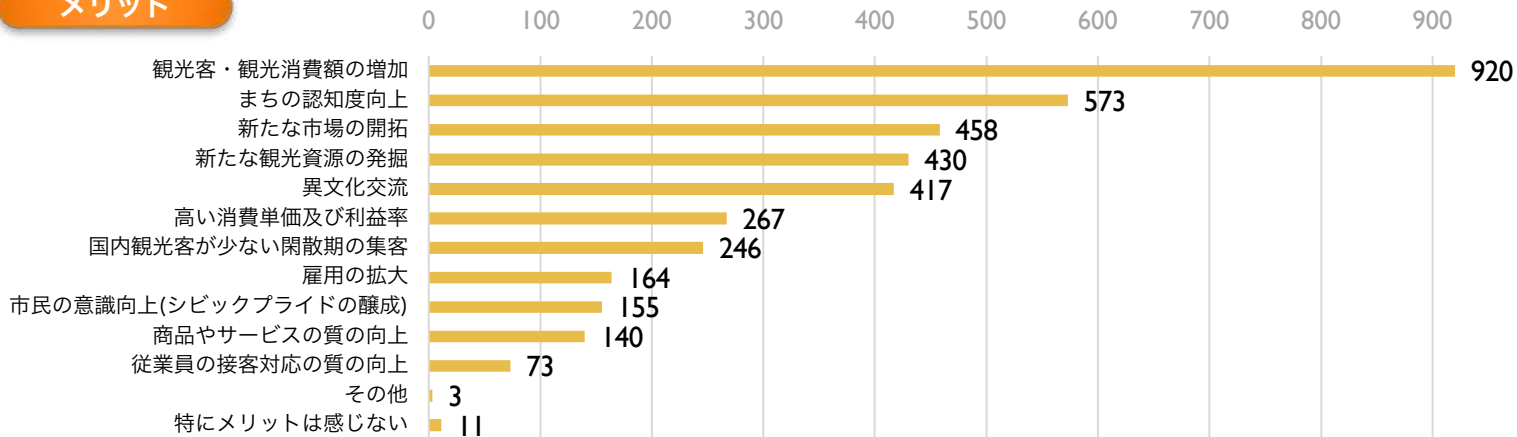
N = 982

## 主な準備内容

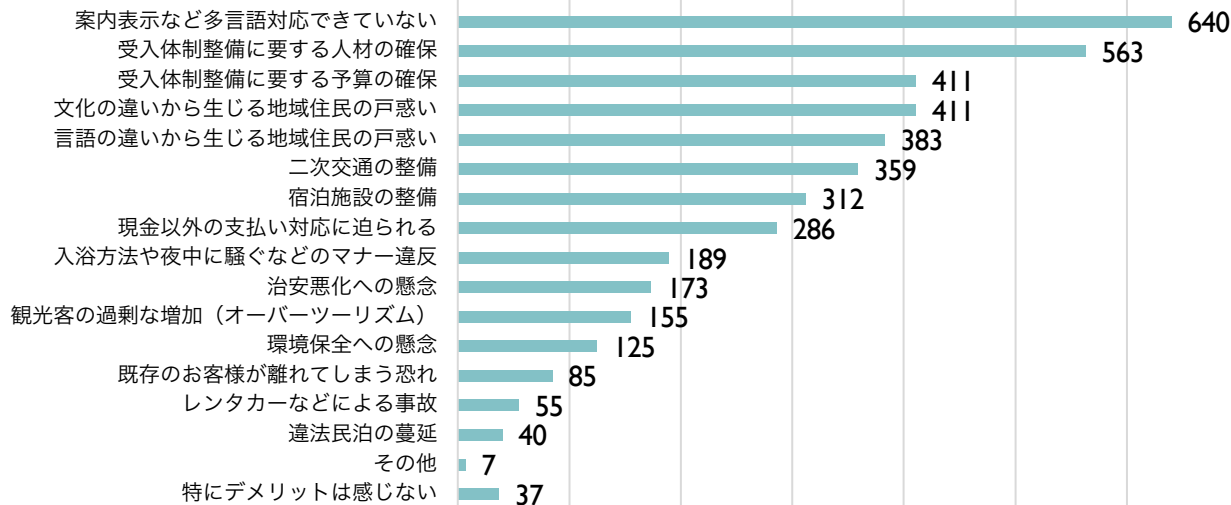
「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の活用	ワーケーションの推進
「誘客多角化等のための魅力的な潜在コンテンツ造成」の活用	安全安心キャンペーン
GoToキャンペーンに対応した施策	ECサイトの立上げ
コロナ感染症対策事業者支援事業	Wi-Fi環境の整備
継続性のある観光施策	案内板などのリニューアル
国や県の施策と連動した事業	観光地や公衆トイレなどの施設整備
社会実験	キャッシュレス対応の決済システムの導入
PR動画の制作	ポータブル翻訳機器の設置
SNSでの情報発信	観光案内所の整備
Webサイトや販促物の制作・改修・多言語化	受入体制の強化
海外プロモーション	地域通訳案内士の導入
地域住民に向けたクーポンやプレミアム商品券の発行	HPなどの多言語対応
旅行者に向けた宿泊費の補助	テイクアウトデリバリーへの支援
感染症対策に対する補助	デリバリーシステムの構築
民間事業者への支援・還元	デジタルサイネージの設置
観光コンテンツの整備・造成	回復期における外国人観光客の動向調査
MICE推進	外国語指差し案内資料の作成

# 03. 外国人観光客を受け入れるメリット・デメリット

## メリット

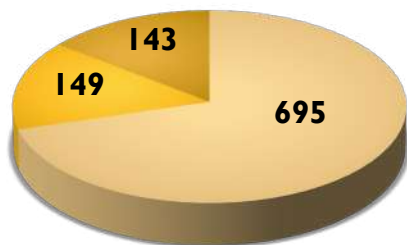


## デメリット



# 04. 観光用販促物や観光サイトなどの多言語化について

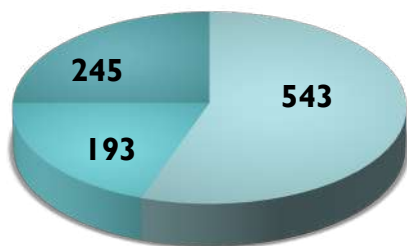
観光用販促物など



- 実施している
- 実施を検討中
- 実施する予定はない

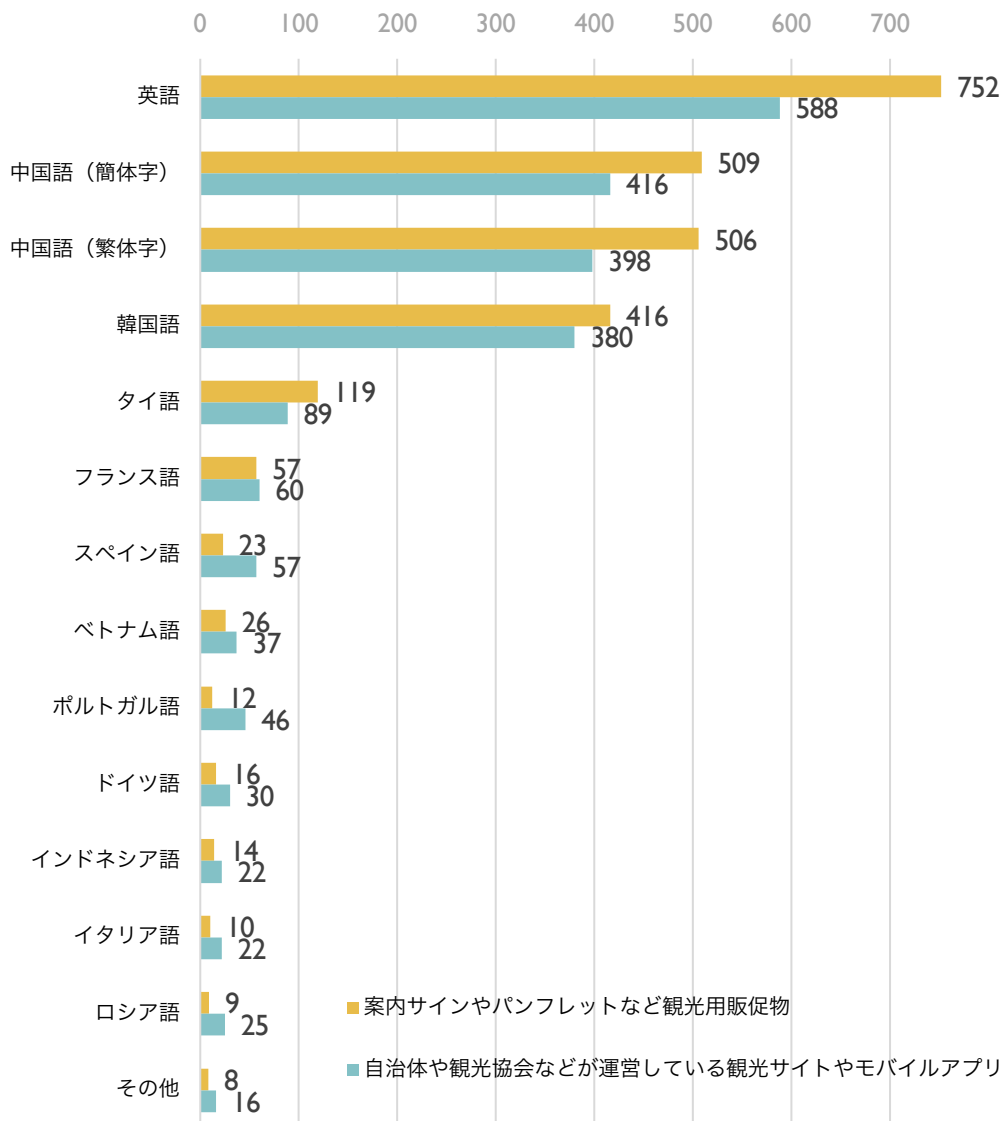
N = 987

観光サイトなど



- 実施している
- 実施を検討中
- 実施する予定はない

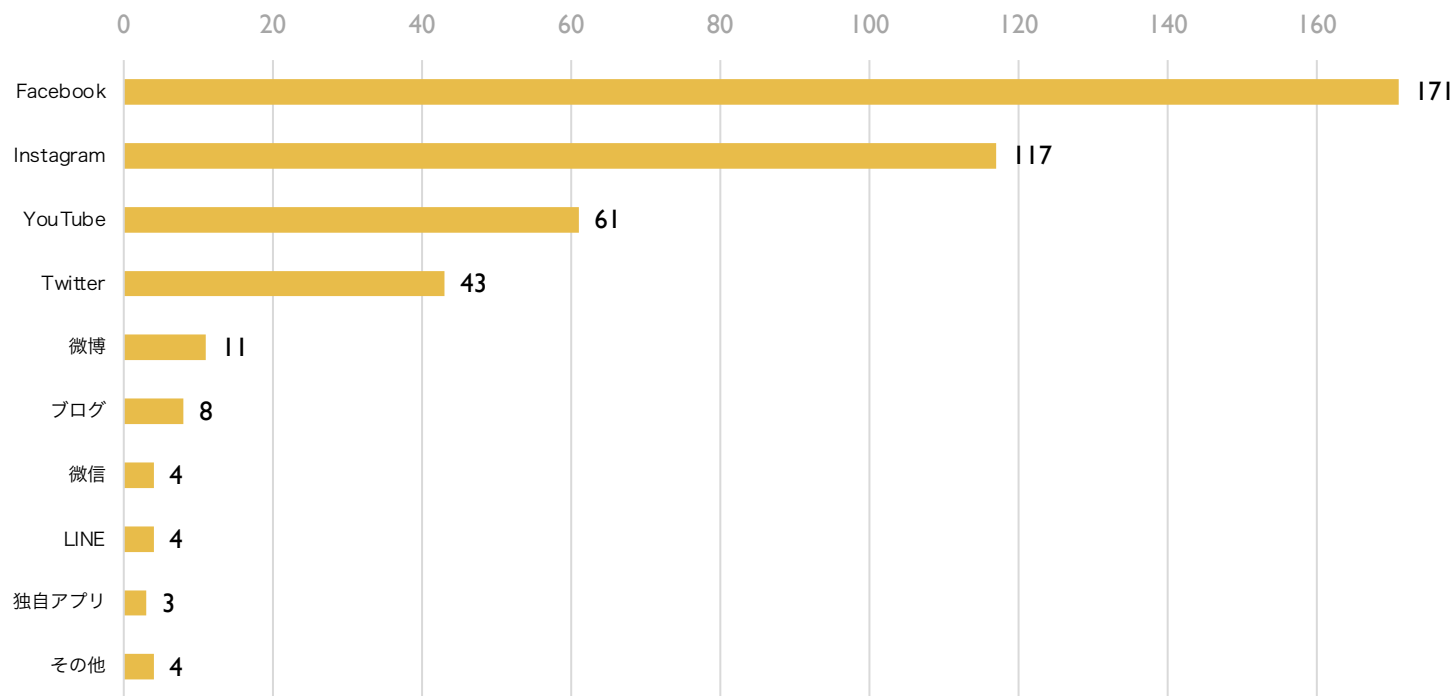
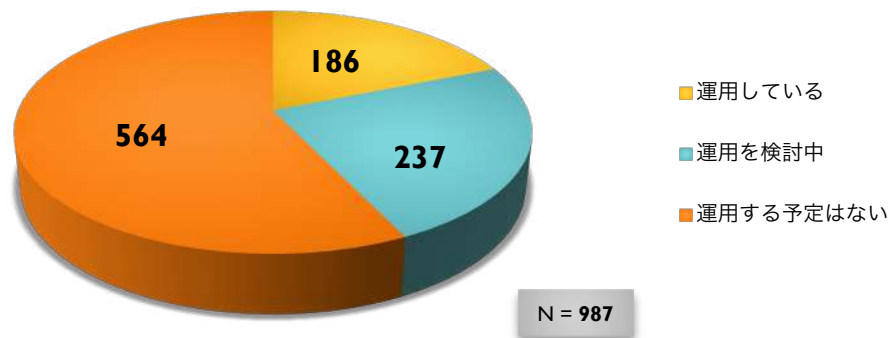
N = 981



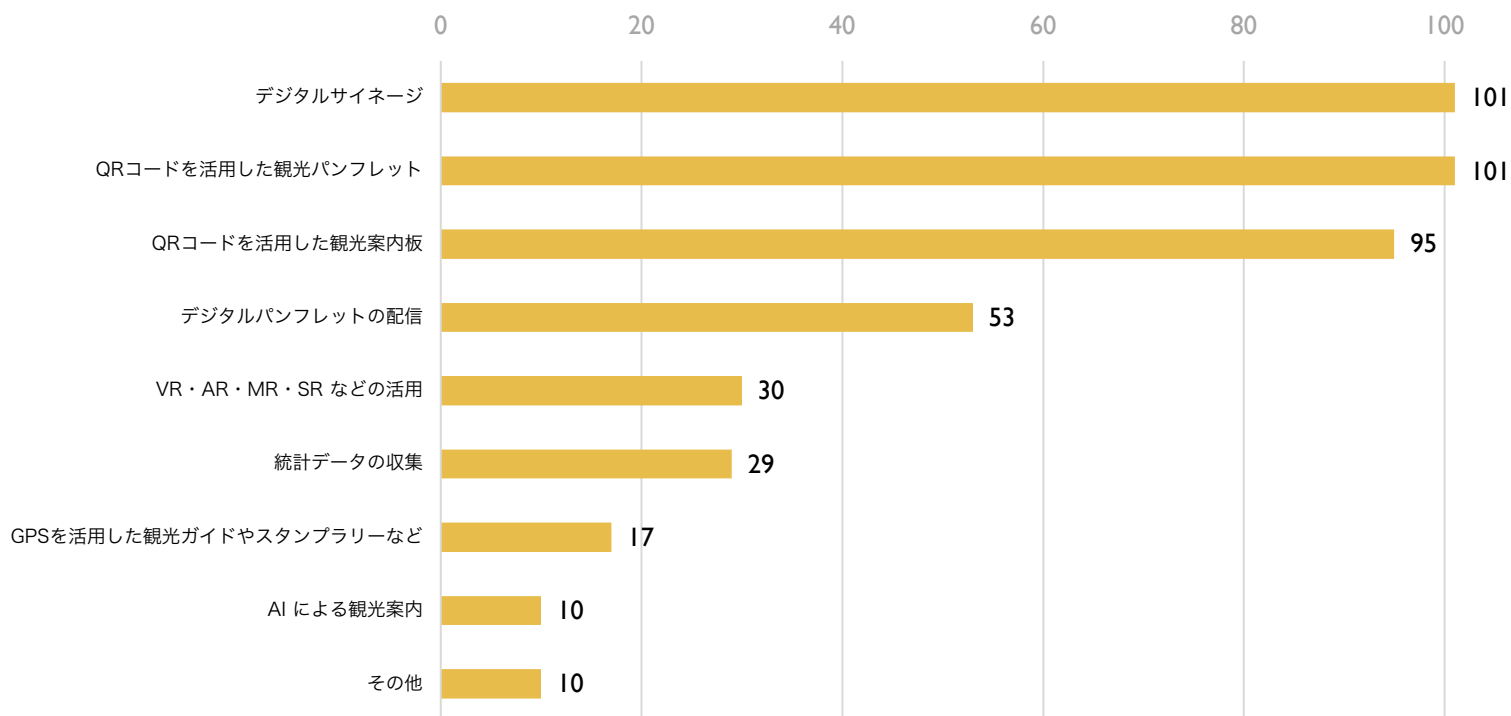
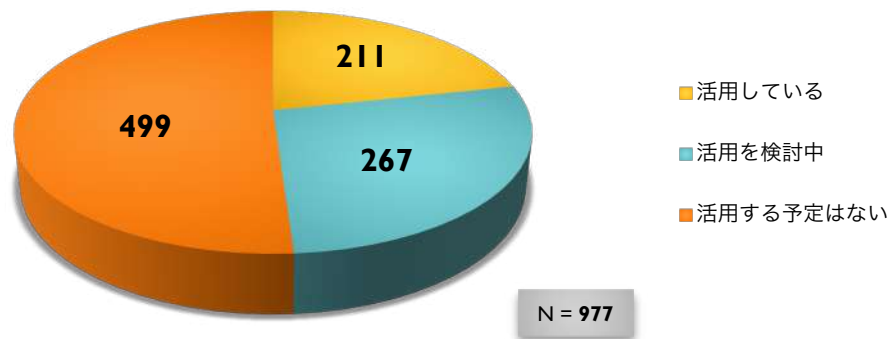
■ 案内サインやパンフレットなど観光用販促物

■ 自治体や観光協会などが運営している観光サイトやモバイルアプリ

# 05. 訪日外国人観光客に向けたSNSの運用について



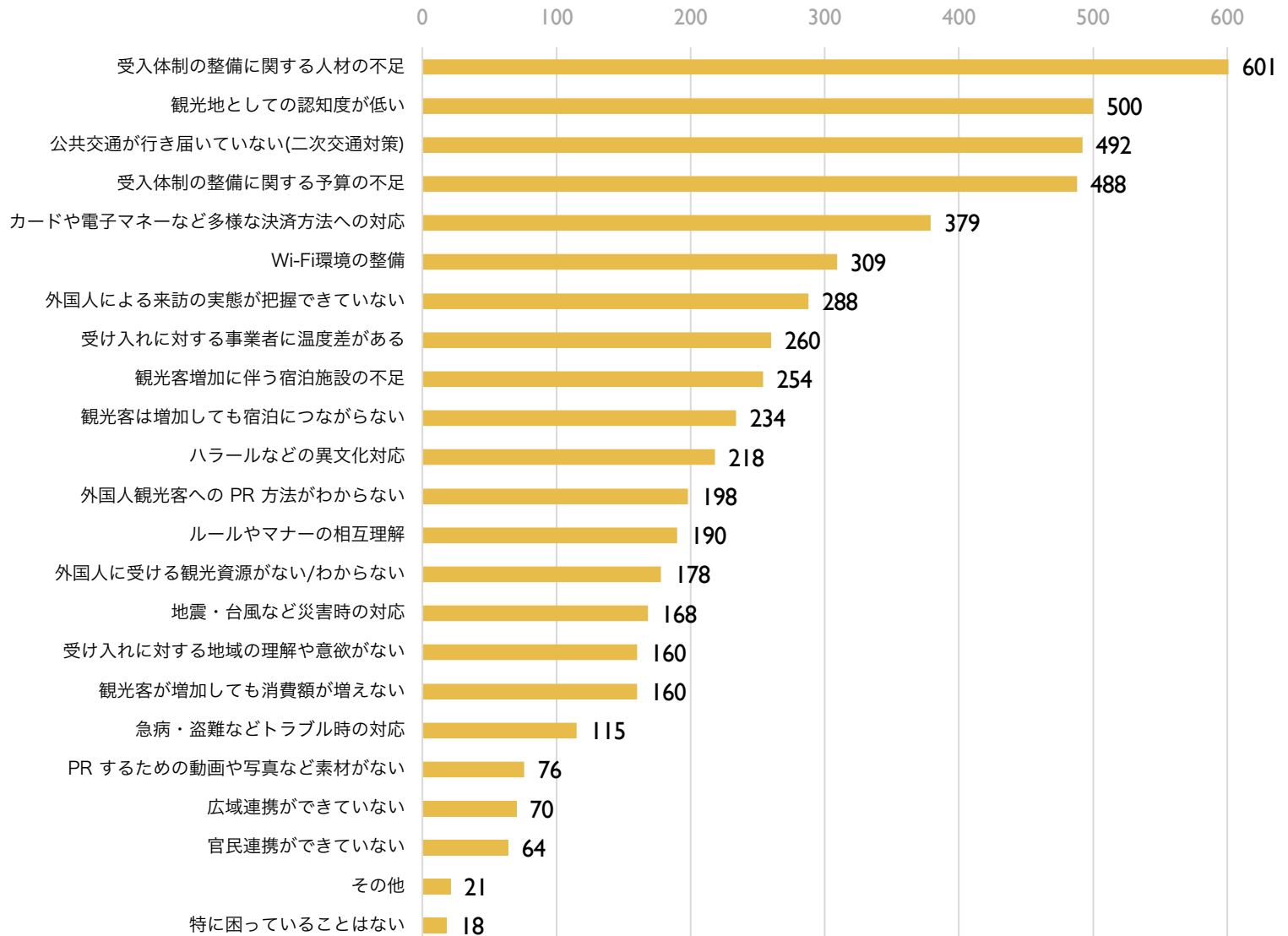
# 06. インバウンド観光事業の推進におけるIoTの活用について



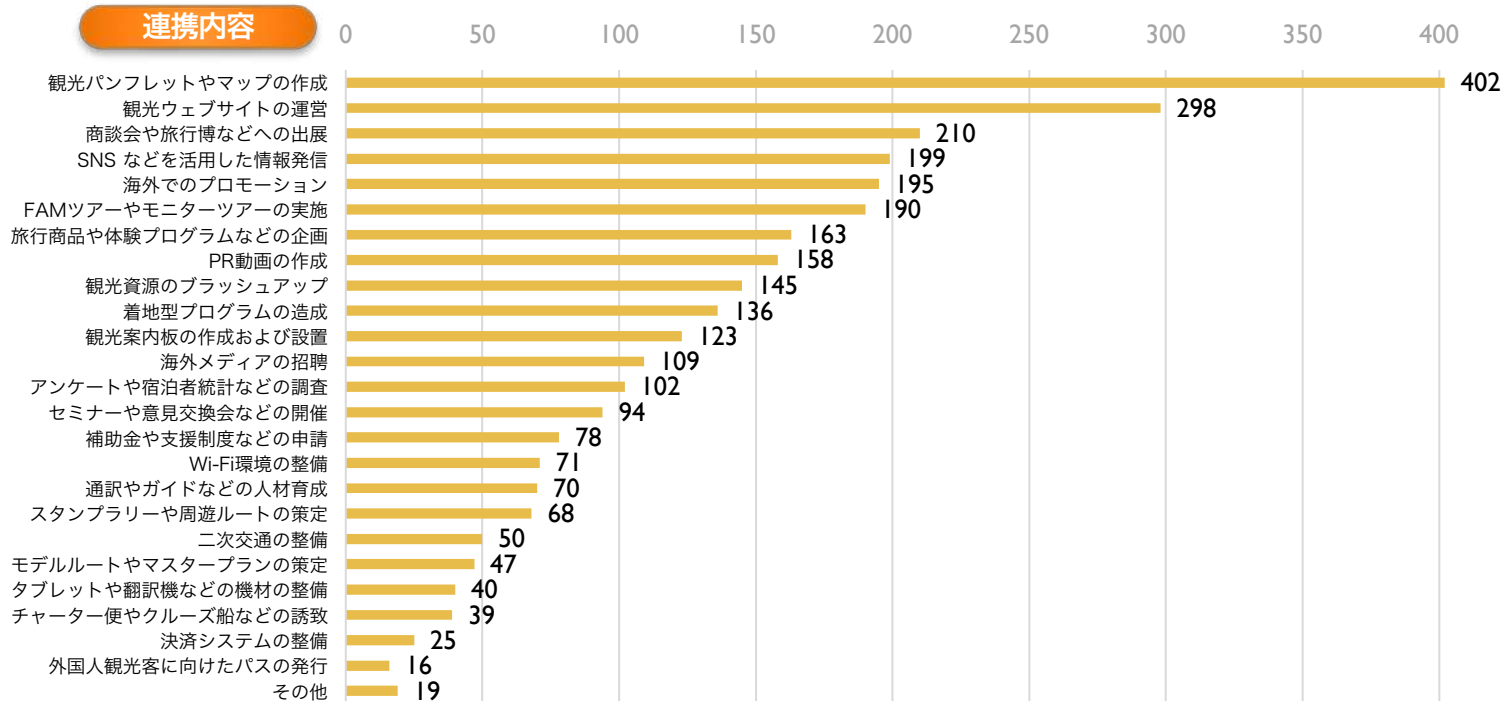
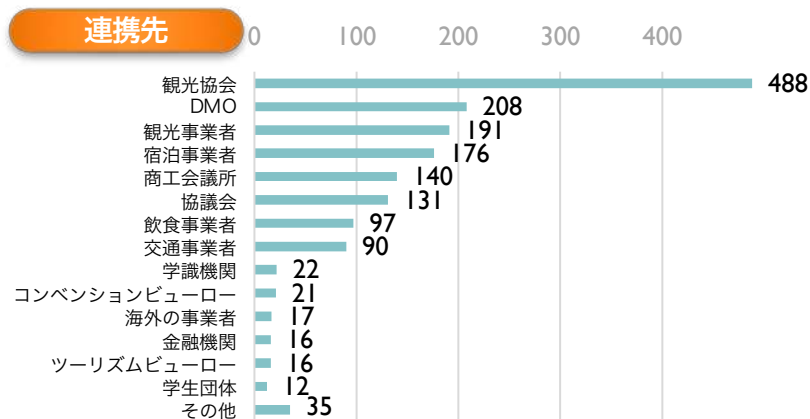
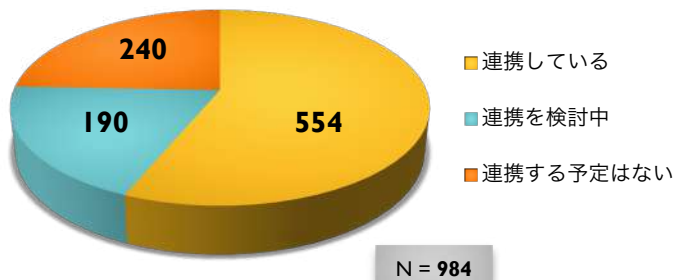


# 07. インバウンド観光事業を推進するにあたり

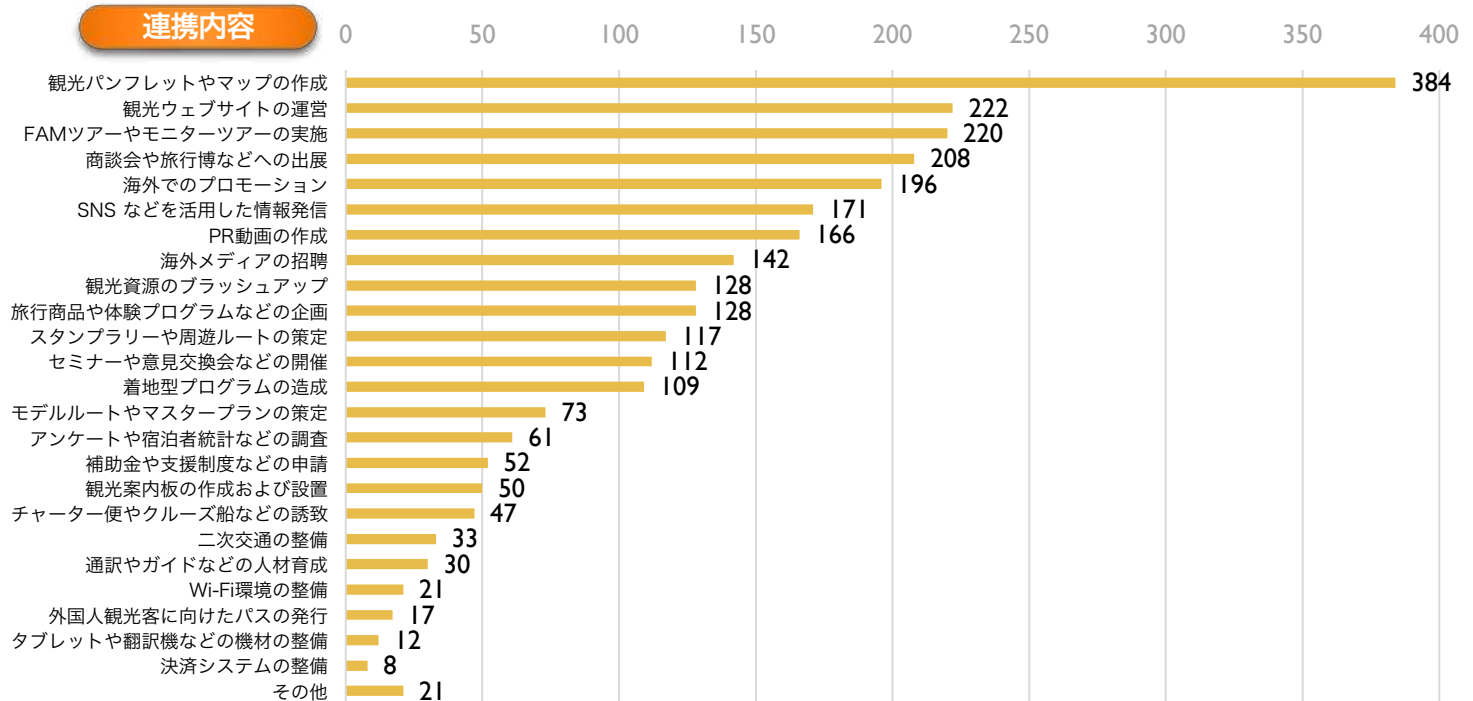
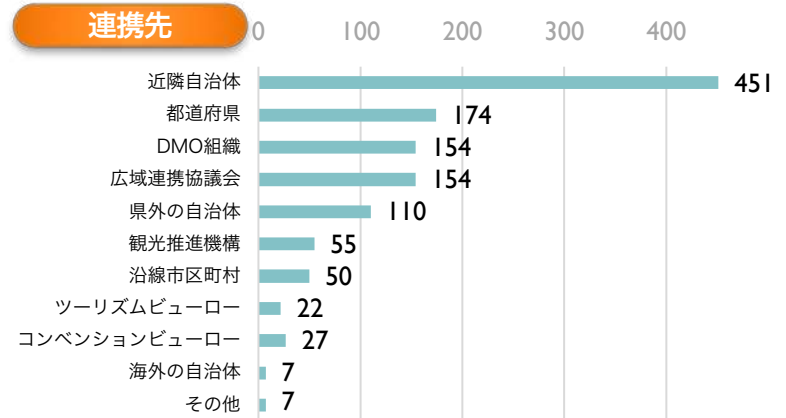
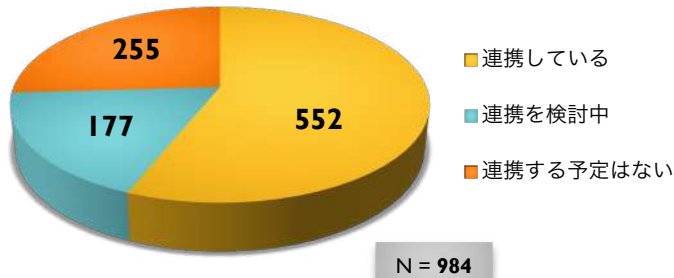
## 現状で困っていること



# 08. インバウンド観光事業の推進における官民連携について

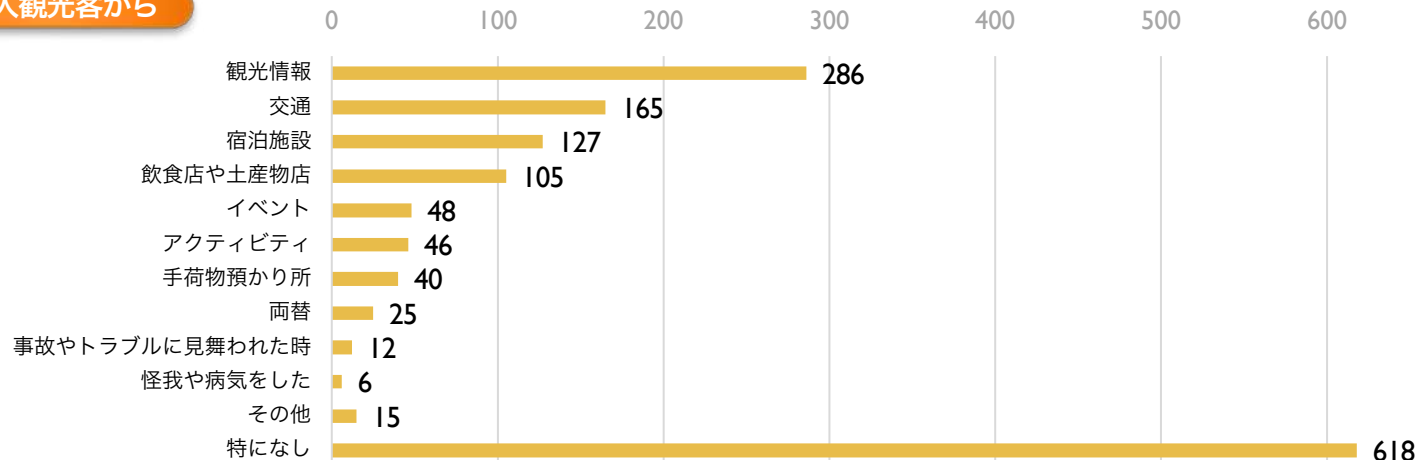


# 09. インバウンド観光事業の推進における広域連携について

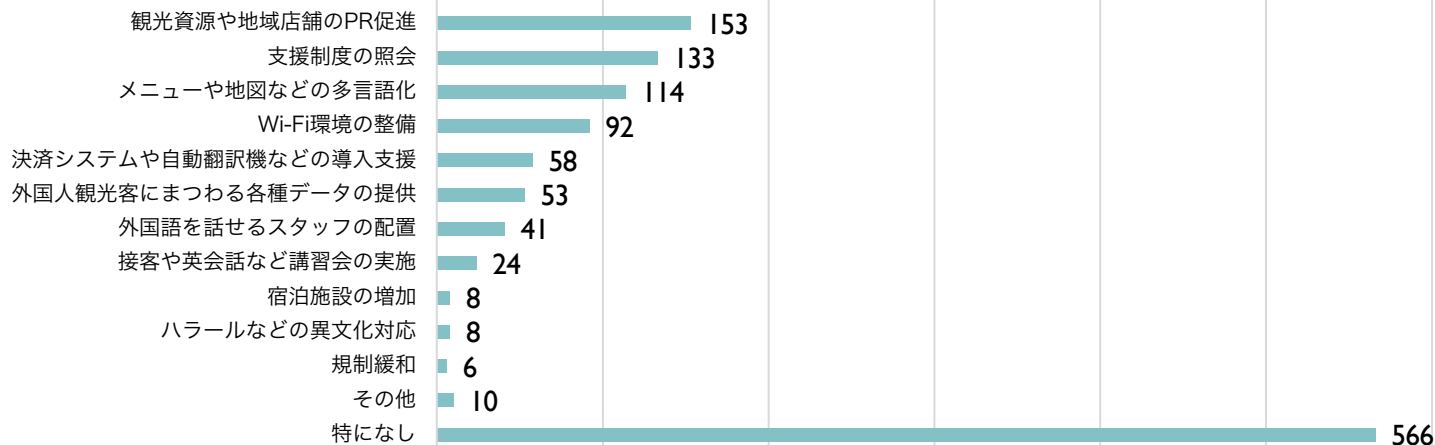


# 10. 自治体への問い合わせについて

## 外国人観光客から



## 民間事業者から



# 11. インバウンドに関連する事業における 予算や補助金(助成金)の活用について

